

# 株式会社丸井グループ

契約の種類： アニュアルレビュー

日付： 2021年6月17日

担当者：

Wakako Mizuta, wakako.mizuta@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

Marie Toyama, marie.toyama@sustainalytics.com, (+81) 3 4571 2343

## はじめに

2018年10月、株式会社丸井グループ株式会社（以下、「丸井グループ」）は(1)再生可能エネルギーから電力100%調達、(2)温室効果ガス排出量削減、及び(3)再生可能エネルギー発電に関する費用のファイナンス又はリファイナンスを目的とするグリーンボンドを発行しました（以下、「グリーンボンド」）。2021年6月、丸井グループはサステナリティクスにグリーンボンドを通して資金の充当を受けたプロジェクトが丸井グループグリーンボンドフレームワーク（以下、「フレームワーク」）<sup>1</sup>で設定された資金使途のクライテリアやレポートの指標に合致しているかについて評価を委託しました。本レビューは、2020年6月に行ったサステナリティクスによる丸井グループのグリーンボンドに対するレビューに続く、3回目のレビューとなります。

## 評価基準

サステナリティクスは、以下の要件について、2020年度<sup>2</sup>に調達資金の充当を受けたプロジェクトを評価しました。

1. フレームワークで設定された調達資金の使途及び適格クライテリアとの適合
2. フレームワークで設定された各資金使途クライテリアに対する主要業績評価指標（KPI）に関する報告

表1に調達資金の使途及び適格クライテリア、表2に関連するKPIを示します。

### 表1：調達資金の使途及び適格クライテリア

丸井グループは、グリーンボンドの調達資金を、以下の適格クライテリアを満たしたプロジェクトに充当・再充当することを約束しています。また、再充当の場合、すべての適格プロジェクトについてグリーンボンド発行日より24ヵ月前までに発生した費用・支払が対象となることを約束しています。

調達資金の使途	適格クライテリア
(1) 再生可能エネルギーから電力100%調達	事業活動で消費する電力の100%を主に太陽光および風力による再生可能エネルギーとする丸井グループの取り組みに関する費用
(2) 温室効果ガス排出量削減	店舗や事務所における省エネ活動に伴う費用
(3) 再生可能エネルギー発電	再生可能エネルギー発電プロジェクトの実施に関連する費用

<sup>1</sup> 丸井グループのグリーンボンドフレームワークの概要については、こちらをご参照ください: <https://www.sustainalytics.com/corporate-solutions/sustainable-finance-and-lending/published-projects/project/marui-group-co-ltd/marui-group-green-bond-framework-second-party-opinion-japanese/marui-group-green-bond-framework-overview-spo-japanese-final-pdf>

<sup>2</sup> 2020年度は2020年4月1日から2021年3月31日まで。

表 2 : 主要業績評価指標 (KPI)

丸井グループは、本グリーンボンドが償還するまでの間、下記の環境インパクト指標を毎年報告します。

主要業績評価指標	
(1) 再生可能エネルギーから電力 100%調達	グループ全体の総消費電力量に対する再生可能エネルギー由来の電力の割合 (%)
(2) 温室効果ガス排出量削減	2017年3月期の水準との比較によるグループ全体の温室効果ガス排出量の削減率 (%)
(3) 再生可能エネルギー発電	再生可能エネルギー発電量 (kWh)

## 発行体の責任

丸井グループは、プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトを含め、調達資金の充当を受けたプロジェクトの詳細に関する正確な情報及び文書を提供する責任を負います。

## 独立性と品質管理

投資家に環境・社会・ガバナンス (ESG) とコーポレート・ガバナンスに関する調査・格付けを提供するプロバイダとして業界をけん引するサステナリティクスは、丸井グループのグリーンボンドによる調達資金の使途を検証しました。本契約の一環として、同社のフレームワークとの適合性の確認のため、丸井グループの従業員からの文書の収集及び確認を行いました。

サステナリティクスは、調査にあたって、対象プロジェクトに関して丸井グループから提示された情報と事実に依拠しています。丸井グループが不正確又は不完全なデータを提供したことにより、本文書で示した見解、調査結果、結論が正確性を欠く場合、サステナリティクスはいかなる責任も負いません。

サステナリティクスは、評価プロセスにおいて最高の品質と厳密さを確保するためにあらゆる努力をし、審査結果の評価にあたっては社内のサステナビリティ・ボンド・レビュー委員会 (Sustainability Bonds Review Committee) が監督を行いました。

## 結論

限定的保証プロセスに基づき検討した結果<sup>3</sup>、すべての重要な側面において、丸井グループのグリーンボンドによる調達資金の充当を受けたプロジェクトが、フレームワークで規定された調達資金の使途及びレポーティングクライテリアに適合しないと判断すべき事実は認められませんでした。

<sup>3</sup> サステナリティクスの限定保証プロセスには、発行体の提供する、調達資金の充当を受けているプロジェクトの詳細に関する文書 (プロジェクトの説明、充当額、プロジェクトによるインパクトなど) の調査が含まれます。発行体には正確な情報を提供する責任があります。サステナリティクスはプロジェクトの現地調査は実施していません。

## 調査結果の詳細

表 3：調査結果の詳細

適格クライテリア	調査手順	調査結果	特定された過失または例外
資金使途クライテリア	2020 年度にグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、フレームワーク及び上の表 1 に示されている資金使途クライテリアとの適合性を検証。	審査したすべてのプロジェクトは資金使途クライテリアに適合していました。	該当なし
レポーティングクライテリア	2020 年度にグリーンボンドによる調達資金を充当されたプロジェクトを対象に、プロジェクトによるインパクトがフレームワーク及び上の表 2 に示されている KPI と適合する形で報告されたかを検証。報告された KPI の一覧は参考資料 2 を参照。	審査したすべてのプロジェクトは関連する KPI についてレポーティングクライテリアに従って報告されていました。	該当なし

## 参考資料

### 参考資料 1：審査対象のプロジェクトカテゴリー一覧

調達資金の用途の カテゴリー	概要	リファイナンスプ ロジェクトのルッ クバック期間	調達資金の充当額 (百万円)	
			2020 年度	累計額 <sup>4</sup>
(1) 再生可能エネルギーから電力 100%調達	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生可能エネルギー由来の電力の購入費用</li> </ul>	該当なし	1,133.9	1,986.3
(2) 温室効果ガス 排出量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>LED 照明に関する費用（最低 40% の消費電力削減）</li> <li>空調に関する費用（最低 30% の消費電力削減）</li> <li>冷温水発生機および冷温水・冷却水ポンプに関する費用（最低 30% の消費電力削減）</li> <li>変圧器に関する費用（最低 50% の消費電力削減）</li> <li>エスカレーターおよびエレベーターに関する費用（最低 30% の消費電力削減）</li> <li>誘導灯に関する費用（最低 40% の消費電力削減）</li> </ul>	全てのリファイナンスプロジェクトのルックバック期間がグリーンボンド発行日から遡って 24 ヶ月未満であることを確認	1,608.9	4,232.5
(3) 再生可能 エネルギー発電	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光発電設備の運営費用</li> </ul>	該当なし	0.4	1.7
合計：			2,743.2	6,220.6

### 参考資料 2：プロジェクトのインパクト一覧

調達資金の用途のカテゴリー	主要業績評価指標
(1) 再生可能エネルギーから電力 100%調達	グループ全体の総消費電力量に対する再生可能エネルギー由来の電力の割合：52.1%
(2) 温室効果ガス排出量削減	2017 年 3 月期の水準との比較によるグループ全体の温室効果ガス排出量の削減率：58.6%
(3) 再生可能エネルギー発電	再生可能エネルギー発電量：354,519 kWh

<sup>4</sup> グリーンボンド発行日（2018 年 10 月 19 日）から 2021 年 3 月 31 日までの充当額の合計

## 免責事項

© Sustainalytics 2021 無断複写・複製・転載を禁ず

本書に包含又は反映されている情報、手法及び意見は、サステナリティクス及び／又はその第三者供給者の所有物（以下、「第三者データ」）であり、サステナリティクスが開示した形式及びフォーマットによる場合又は適切な引用及び表示が確保される場合のみ第三者へ提供されます。これらは、情報提供のみを目的として提供されており、（1）製品又はプロジェクトの保証となるものではなく、（2）投資助言、財務助言又は目論見書となるものではなく、（3）有価証券の売買、プロジェクトの選択又は何らかの種類の商取引の実施の提案又は表示と解釈してはならず、（4）発行体の財務業績、金融債務又は信用力の評価を表明するものではなく、（5）いかなる募集開示にも組み込まれておらず、組み込んではありません。

これらは、発行体から提供された情報に基づいたものですので、これらの商品性、完全性、正確性、最新性又は特定目的適合性は保証されていません。情報及びデータは、現状有姿にて提供されており、それらの作成及び公表日時時点のサステナリティクスの意見を反映しています。サステナリティクスは、法律に明示的に要求されている場合を除き、いかなる方法であっても、本書に含まれた情報、データ又は意見の使用に起因する損害について一切責任を負いません。第三者の名称又は第三者データへの言及は、かかる第三者に所有権があることを適切に表示するためのものであり、その後援又は推奨を意味するものではありません。当社の第三者データ提供者のリスト及びこれら各者の利用規約は、当社のウェブサイトに掲載されています。詳しくは、<http://www.sustainalytics.com/legal-disclaimers> をご参照ください。

発行体は、自らが確約した内容の確実な遵守とその証明、履行及び監視について全責任を負います。

英語版と翻訳版との間に矛盾もしくは不一致が生じた場合は英語版が優先されるものとします。

## サステイナリティクス（モーニングスター・カンパニー）

サステイナリティクスは、モーニングスター・カンパニーであり、環境・社会・ガバナンス（ESG）とコーポレート・ガバナンスに関する調査、評価及び分析を行う独立系機関であり、責任投資（RI）戦略の策定と実施について世界中の投資家をサポートしています。ESG 及びコーポレート・ガバナンスに関する情報及び評価を投資プロセスに組み込んでいる、数百に及ぶ世界の主要な資産運用会社や年金基金を支援しています。また、多国籍企業や金融機関、各国政府を含む世界の主要な発行体に、グリーンボンド、ソーシャルボンド、サステナビリティボンドのフレームワークに対する信頼性の高いセカンドパーティ・オピニオンを提供しています。2020 年には、Climate Bonds Initiative により、3 年連続で「気候ボンドのレビューにおける最大の認証機関」に選ばれたほか、Environmental Finance 誌により、2 年連続で「最大の外部レビュー機関」に認定されました。詳しくは、[www.sustainalytics.com](http://www.sustainalytics.com) をご参照ください。



**GlobalCapital**  
SRI Awards

Named  
2015: Best SRI or Green Bond Research or Rating Firm  
2017, 2018, 2019: Most Impressive Second Opinion Provider

